

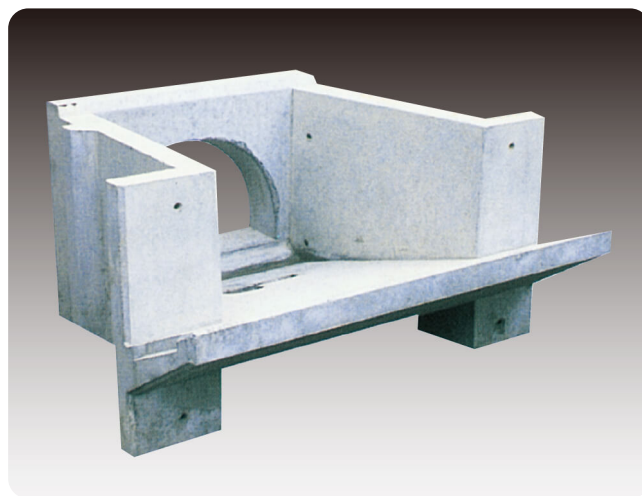
植栽用大型積みブロック

緑生擁壁

特長



- 緑生擁壁は、法面の緑化と土留めを兼ねたブロックです。
- 隣接ブロック間に差筋を入れ、胴込コンクリートを打設する練積構造で、土圧、不等沈下及び地震等に対して有効です。また、ブロック間の目地離れもなく、中詰土の流出による土の空洞化を防止し、樹木の成育を妨げません。
- 擁壁高5m以上の時は、必要に応じて胴込コンクリートに鉄筋を入れることでより強固な擁壁が築造可能になります。
- 岩壁の切取面でも緑化ができ、土羽面は、吸音効果に優れ、騒音から周辺環境を守ります。



控 350, 500, 800
全3タイプ

名称	参考質量(kg)
I 型	443

